

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラス下関一の宮教室			公表日	R7年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		個室が少なくクールダウンを行う場所や小集団の支援を一齐に行うことは難しいです。メリットである死角が少なく見渡せることを活かしながら環境設定を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	10人を超える場合等、人員配置を常に意識しています。又、個別対応が必要な場合も1対1で対応できるように支援しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	職員室等、児童が入ってはいけない場所に赤線を引いて区切る等視覚支援を行っています。又身体障害のある利用者は現在いませんが玄関以外はバリアフリーでトイレも広さがあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	人数に対して広さはあるものの、個室が少ない為クールダウンを必要とする児童が複数居た場合に場所を提供が出来ていません。	パーティションで区切るなど環境設定をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	相談室と休養室があり、特に相談室に関しては中の声が聞こえづらい構造になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		全体周知をしています。内容を把握できるよう複数回に分けてミーティングを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表を元にサービスの向上に努めるように職員間で話し合いを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼や終礼で1日の子どもたちの様子や職員の意見交換を行っています。今後も意見が出しやすい雰囲気を作れるよう努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	本部から定期的に職員が来られ、トレーニングや書類確認を行い業務改善を得ています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部講師によるハラスメント研修や本部からの研修の機会があり、知見を深めています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ホームページでの公表と共に玄関先に年間トレーニングプログラムをラミネートし掲示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	日々の様子の観察や保護者面談を通してアセスメントを行い計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員会議、支援会議を開く中で情報共有や意見交換を行い、計画や支援の方針を検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	日々子どもたちの様子を観察しながら情報交換をし、共通理解の上、支援を行っています。また、保護者面談での保護者とのやり取りも子どもの状況把握に生かされています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	会社独自のアセスメントツール用いて、フォーマル、インフォーマルな視点からも客観的にアセスメントができるようになっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインを踏まえ、適切な計画の立案がなされるように、計画→実行→見直し→計画のサイクルで設定を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		個別で立案することが多い為、全体で意見交換ができるよう曜日を決めて会議を行う計画を立てています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	活動形態や支援形態がマンネリ化しないように、また、児童の実態に合うように、職員一人一人が意識するとともに、検討会を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	トレーニングのテーマや児童の実情に合わせて、集団活動と個別活動を使い分けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝の打ち合わせや昼のトレーニング会議など、時間を設けて打ち合わせを行い、職員が共通理解のもとトレーニングが実施されるように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日の振り返りをする事で児童一人一人への理解がより深くなるように、そして、職員の共通理解が確実になるように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	一人一人の児童の様子の良かった面と今後支援が必要な面を書き出し、次に生かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にご家庭に短信で様子をお伝えすることで、保護者の方にも子どもの課題の確認や支援の内容を把握していただいています。そのうえで必要があれば計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	トレーニングを考えると4つの基本基本活動を意識している。また、5領域の分野に沿って支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	余暇時間やトレーニングの時間に、職員が一方向的に声掛けするのではなく、児童に考えさせる機会を設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者の参画だけでなく、心理士など専門職員も参画させていただいています。また、参画する上で子どもの状況を職員で共有した上で会議に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	学校お迎え時等、児童の様子を情報共有をするなど関係機関と連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	週末に翌週の下校時刻の確認を行っています。また送迎時間が遅れる場合など事前に学校に連絡をさせて頂いています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		就学前の様子は保護者様や相談員より情報を共有させていただく事が多く、今後は保育園等にも情報を得ていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		今まで該当する利用児童がいませんでしたが、今年度いらっしゃるため、情報提供の準備をしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		本部での研修参加が多いため、今後は地域主催の研修等の参加に努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		児童クラブや地域の子ども会等、交流の場を設けるため季節のイベント開催を考案し招待していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	毎月開催される子ども部会に出席しています。他事業所との情報共有や事例検討など多くのことを学ばせていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や保護者面談などで日々の様子をお伝えさせて頂いています。	今後も保護者様からの意見や相談など話しやすい場となるよう普段からの情報共有を大切にしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		保護者面談を通して家族支援を定期的に行っています。家族でも参加できる研修や交流会などを増やしていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明をさせていただいています。また、ご不明点などお問い合わせは随時受付させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	契約時や計画作成時に保護者様や利用児童の意向を確認して頂いた上でサービスを提供させていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援内容の説明・同意をいただき、支援しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	面談時では、家庭での様子やご家族の思いなどたくさんお話をお聞きし、どのようにしていけばよいかなど一緒に考えサポートさせて頂いています。	今後も相談しやすい場となれるよう日々の情報共有や連携に努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2		現在、保護者会の活動が来ていません。保護者間の交流ができるようお茶会や季節のイベントを開催し招待する等計画を立ててまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情の受付窓口や担当職員を配置するとともに、苦情解決の研修を行い適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的に「ハッピー通信」を発行し活動概要・行事予定の情報をこどもや保護者、関係機関へ発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報記載の書類は鍵付きキャビネットにて管理し、また守秘義務を遵守しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	保護者と定期的な面談や送迎時に必要な情報伝達や配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		地域住民を招待する企画がなかったため、計画してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを策定し、発生を想定した訓練を実施しています。また、訓練実施した際は職員やご家族にも周知させていただいています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	非常災害に備えて定期的に避難・救出など必要な訓練を実施しています。また、災害時に必要な準備物など定期的に見直しを行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に服薬状況、持病などの利用児童の健康状態を確認しています。また救急で搬送される場合に備え、医療情報シートの作成と保管をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーなどの健康状況を把握しています。今現在は該当する利用児童はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に基づき、研修・訓練を実施し、支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	取組内容を家族等へ適切に周知し、連携を図っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事業所では、職員が体験したヒヤリハットを記録・共有し、定例会議で原因と改善策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修やセルフチェックを行い、虐待に対する知識の習得と、虐待防止の意識付けを図っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	勉強会や協議をもとに、身体拘束が必要かどうかを組織的に決定し、保護者様に説明と同意をいただき支援させていただいています。		